

質問 農地を守る、都市農業を守るという観点から、現状等について、①市内の農地面積と生産緑地面積の推移は。②農地保全について、基本的な考え方は。③2022年には生産緑地の指定から30年が経過し、多くの農業従事者が農地を手放す状況も予想されるが、買い取りも含めた考え方は。

無党派議員 小林 こうじ

昭島市の農地保全について

①平成5年と29年を比較した減少率は、宅地化農地が74%減と高いが、生産緑地は10%減と低く抑えられている。②経営指導のサポート、地場野菜の活用促進、認定農業者への支援などの施策を展開し、農地保全に努めていく。③市が買い取ることは、多額の財

源が必要となることから困難性がある。現在、国で税制等について検討中であり、状況を見守りや空き家の清掃などを返礼品としては、①平成29年度は10月現在で、寄附が60件5千657万円、控除が2千867万585万円。②返礼品数を11品目に増やすとともに、寄附者の意向に沿って使途を確保することができるとしている。



住民主導の循環型社会の取り組みについて
自由民主党昭島市議員 高橋 誠 議員

減し、住民1人あたりのごみ処理経費も下がったこと、年間9千万円の節減効果も生じている。更には堆肥を商品化し一般家庭向けに売り出している。こうした生ごみを再利用する資源

循環型社会への取り組みは、ごみの減量策として、また、昭島市の10年後のあり方として有効な取り組みと考える。実施に向け検討している。

一般質問 (要旨)



寒さに負けず、火の用心 (出初式:消防少年団)

①今後ともさまざまな機会をとらえ、JR東日本に、住民の意見、要望、提

質問 都市計画道路3・4・1号道路整備に伴い、梨木踏切を廃止する整備計画が進行している。①近隣住民の生活道路となつてい

質問 活字離れが加速する中、「読み聞かせの黄金期」と呼ばれる3歳児や、絵本から児童書へスライドする5歳児に対して、本を贈呈するセカンドブック事業を

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ



梨木踏切の存続を学校給食無償化の検討を
日本共産党昭島市議員 佐藤 文子 議員

質問 学校給食費について、①子育て世帯の負担軽減や食育の観点など

質問 学校給食費について、①子育て世帯の負担軽減や食育の観点など

質問 学校給食費について、①子育て世帯の負担軽減や食育の観点など

質問 活字離れが加速する中、「読み聞かせの黄金期」と呼ばれる3歳児や、絵本から児童書へスライドする5歳児に対して、本を贈呈するセカンドブック事業を

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ

質問 性的マイノリティ(LGBT)に対する差別解消や偏見の除去、生活食あたり6円の補助を行つて、①昭島市として現状の政状況から大変困難性があ



セカンドブック事業の実施について
公明党昭島市議員 渡辺 純也 議員

質問 近年、局地的豪雨等の気候変動が予想される中、美堀町地域は私道

質問 近年、局地的豪雨等の気候変動が予想される中、美堀町地域は私道

質問 近年、局地的豪雨等の気候変動が予想される中、美堀町地域は私道

質問 近年、局地的豪雨等の気候変動が予想される中、美堀町地域は私道

3面下段より

反対

「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律の制定を国に求める意見書」提出の陳情を不採択とする委員長報告について

様化するということ相反し、民間のF1品種数種に銘柄を絞ることと明記され、また、種子の知見を民間事業者者に提供することあり、これは日本の食料安全保障の危機に繋がることから速やかな対応が必要である。日本の主要農作物の種子を公共の財産として保全するのための新たな法整備と、それに基づく積極的な施策が急務であることから、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

反対

壊する危険、地域の気候や農業形態に根差した品種開発の後退、また、外国系多国籍企業がもうけの場として進出する可能性がある。種子の役割は重要であり、その開発・生産、普及などの施策が実施され、農家には安くて優良な種子が、消費場や奨励品種制度の維持、種取り農家の保護などが安定的に供給されてきた。種子法が廃止されると、種子を国民の共有財産と

ご利用ください

声の市議会だより

点字市議会だより

視覚障害のある方などに、市議会の活動をよりよく知っていただくため、声の市議会だより・点字市議会だよりを発行しています。ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

電話 042-544-5111 (代) 内線 2412